

# 「インテグレートドケアとは何か—The International Summer School on Integrated Care2016の資料解説—」

What is Integrated Care?

渡 辺 裕 美  
WATANABE Hiromi

## はじめに

2015年6月WHOはインテグレートドケアをグローバル戦略としてすすめていくことを示す報告書を刊行した。日本では、地域包括ケアが厚生労働省の施策になっている。インテグレートドケアとは何か？地域包括ケアと違うものか？本稿はこの問いに答えるものである。

2016年夏、インテグレートド・ケア・サマースクール（The International Summer School on Integrated Care, “Integrated Care in Theory and Practice”）に参加し、最新知識を学ぶ機会を得た。

このサマースクールは、Integrated Care学会の開催と学会誌を編纂しているInternational Foundation for Integrated Care/Integrated Care Academyの主催で、2016年6月26日～7月1日、Wolfson College, University of OXFORD, United Kingdomで初めて開催された。参加者は、13か国（南アフリカ・ポルトガル・ベルギー・オーストラリア・シンガポール・アイルランド・USA・ギリシャ・ニュージーランド・日本・カナダ・UK・ポーランド）から25名（保健省アドバイザー・自治体や組織の管理者・大学教員・研究者ら）。教育プログラム内容は、インテグレートドケア研究者やWHO職員による講義と南ロンドン地区NHSインテグレートドケア現場を視察した。さらに、グループワークで、今まさにインテグレートドケアにとりくんでいるスコットランド他の事例検討を行った。

本稿は、筆者が、インテグレートドケアのサマースクールに参加して得た最新資料と海外文献から、世界で潮流となっているインテグレートドケアを紹介するものである。

本稿の目的は、1 インテグレートドケアが世界潮流となっている現状、2 インテグレートドケアとは何か概念、3 インテグレートドケアによる実践イメージ、これら3点を読者に伝えることである。

## 1. 世界潮流となっているインテグレートドケア

### 1-1 スコットランド国におけるフル・インテグレーションの例

スコットランドでは、今まさにフル・インテグレーションがすすみつつある。(以下、筆者がサマーセミナーで得た資料<sup>1</sup>を訳) スコットランドの人口は約570万人。高齢化が進み、2014年から2039年の間に75歳以上高齢者が85%増えることと考えられ、世帯の34%が独居・障害や健康上の問題をもつことを予想され、持続可能なヘルスケアシステムへと変えていく必要性にせまられた。これまで、スコットランドでは、14のNHS: National Health Serviceがあり、病院やプライマリーケアや訪問看護を提供してきた。32の市町村はソーシャルケア（介護施設や住宅や介護サービス等）を提供してきた。別々の組織で別々にサービスを提供してきた。しかし、2014年にPublic Bodies Actという法律でインテグレートドケアをすすめることを打ち出した。この法律は、NHS Boardと市町村Local Authoritiesが、NHSか市町村のどちらかがどちらかに機能と資源を委任代理する<Lead Agency モデル>か、一つの集合体をつくり<Integrated Joint Boardモデル>か、2つのモデルのうちのどれか1つのモデルを2016年4月までに作るように定められた。

スコットランドでは、法で定められた計画と財源の統合によって、事業所や法定化されていないサービスを巻き込んでフル・インテグレートが発展しつつある。予防支援への投資が強化され、人々はより自分の生活をコントロールしセルフケア、セルフマネジメントの可能性を高めるように。そして、ケアサービスの質を担保するために、2020年を目標とするスローガンをつくってキャンペーンを行っている（図1）、専門職教育の内容やインテグレーションをすすめるためのパートナーシップを支援するための研修もとりくまれている。



図1 スコットランドのHealth and Social Care Integrationキャンペーン  
Source: Anne Hendry (2016)<sup>2)</sup>のスライドより引用

## 1-2 WHOのスローガンと報告書

2015年6月、WHOは、「WHO global strategy on people-centred and integrated health service (WHOグローバル戦略 人を中心としたインテグレートドヘルスケア」報告書<sup>3)</sup>をインターネット上にアップした。この報告書は、WHOが、世界中でインテグレートドケアを推進していくというスローガンであり、基本パラダイムの転換を示した報告書である(図2)。インターネット上にアップされているので、読んでほしい。



図2 WHO global strategy on people-centred and integrated health service表紙

## 2. インテグレートドケアに含まれるケアサービスは何か

インテグレートドケアは、Health and Social Careという英語で表現される。保健医療分野と福祉分野の両分野を含んだケアという意味で使われている。ソーシャルケア=介護と切り切りたいところだが、実際は介護だけではない。ソーシャルケアには、住宅・介護・家事援助・就労支援・年金手当・配食サービス・福祉機器・通院送迎・アクティビティ等、幅広く、生活を支えるケア・サービスが含まれている。

## 3. インテグレートドケアが注目されるのはなぜか、その背景

インテグレートドケアは、断片的なケアサービスが提供されている現状を変えようということによって注目されている“挑戦チャレンジ”である。

- ①人口高齢化に伴い、すべての国において、在宅を基本としたケア Home-based care が重要になっている。
- ②高齢者や障がい者の自立生活を持続可能に支えていく必要がある。
- ③一方、医療費や社会保障費や介護費用のコストは膨らむ一方であり、社会的なコストをどう抑えていくのか、どの国にとっても大きな課題となってきている。
- ④さらに、家族形態は変化し、誰がケアするのか、ケアに誰が責任を持つのか、社会変化はケア問題の解決にプレッシャーになっている。
- ⑤これまで、専門職中心で、組織機関別に各サービスが別々に提供されてきた。
- ⑥入院治療しても、退院後の支援が得られないために再入院となったり、予防と治療が切り離されて

いる現状があったりする。

- ⑦治療はうまくいってもソーシャル問題は解決できないし、生活を支えていくためにはさまざまな支援やサービスが必要である。
- ⑧Health と Social Careには壁がある。保健医療と福祉分野にはそれぞれ領域があり、組織があり、多職種がそれぞれの役割をもって仕事をしている。
- ⑨高い専門性を持っている専門職も、使う言葉が違うと意味が通じない。
- ⑩これまで専門職中心だったが、これからは、利用者中心 (Person-Center, People-Center) を取り戻したい。

このような背景からインテグレートドケアがとりくまれている。

#### 4. インテグレートドケアがめざすものは何か

インテグレートドケアは、利用者中心で、その人のニーズに合わせてサービスや支援を統合して提供していくことをめざす。専門職や組織の壁を超えたチームでいっしょに課題解決を成し遂げることによって、“よりよい実践”、グッドプラクティスを導く。その人が必要とするケアサービスを提供することで、生活の質を上げ、ケアサービスの満足度を上げる。さらに、医療費やケアサービスのコストを抑え、持続可能なヘルスケアシステムの維持、ということで、政策かじ取りの一つとしても注目されている。

#### 5. WHO事務局長の講演内容

WHOの事務局長マーガレット・チャン (Dr. Margaret Chan: Director General, World Health Organization (WHO)) は、2016年3月、バルセロナで開催された第16回インテグレートドケア・カンファレンス (On the 23-25 May 2016, our 16th International Conference on Integrated Care in Barcelona) における開会あいさつビデオメッセージで次のように述べている<sup>4)</sup>

「WHO は、Integrated Health and Social Careをすすめていきます。必要な人にケアサービスを届け、しかもサービスのしくみをどう維持していけばいいでしょうか。慢性疾患を持つ人の増加や人口高齢化によって、多職種協働ケアの必要性、チーム援助の需要が大きくなってきています。コストを削減し、持続可能なヘルスケアシステムにしていく必要があります。インテグレートドケアは、今のケアサービスの在りかたを変えていく運動ムーブメントです。インテグレートドケアへの変革を導いていきましょう。

まず、第一に、利用者を中心として、利用者のニーズに合わせて、必要なケアサービスを、カスタマイズ個別に組み立てること。その人のヘルスコンディション身体状況と社会環境状況を切り離さずにとらえることが大切です。Integrated Health and Social Careは、利用者の満足度が高め、結果を導き、有効です。Integrated Health and Social Careは、ヘルスシステムのリフォームです。人が生きていく上で、誰にとっても必要なケアサービスの保障Universal Coverageでもあります。」

インテグレートドケアは、政策・制度システム設計だけではなく、よりよい実践のためのガイド

ライン、としても、今、世界の潮流になっている。

## 6. インテグレートドケアとは何か—概念と多面性—

セミナー最初の講師、インテグレートドケア学会とインテグレートドアカデミー代表である Nick Goodwin と Viktoria Stein は、インテグレートドケアとは何か、その概念定義は立ち位置によって違うといい、複数を提示した<sup>5)</sup>。

### インテグレートドケアとは何か

システム立脚：「予防レベルからターミナル期にある人までその人のレベルに合わせてニーズを満たすサービスの管理と提供」(PAHO, 2011)

プロセス立脚：「生活の質やケアの質を上げ利用者が満足する。横断的にインテグレーションによって援助効果が生じたときに、それをインテグレートドケアと呼ぶ」(konder and Spreeuwenberg 2002)

利用者主導立脚：「私のケアは私や家族のことを理解してくれる人といっしょに計画される。私にとって最善の結果をもたらすようにサービスが提供されコーディネートできるように私自身がコントロールできる」(National Voice 2012)

出典：Nick Goodwin と Viktoria Stein の講義スライドより引用筆者訳・要約

インテグレートドケアの実践ガイド書を出版した Robin Miller (2016)<sup>6)</sup> は、その著書の中でインテグレートドケアの中核にある原理原則を次のように述べている。

### インテグレートドケアの中核にある原理原則

「専門職や組織が、ヘルスニーズ・ソーシャルケアニーズ・住宅支援ニーズなどを持つ本人とともに、協働して、本人と家族に対して、質の高いケアや治療を提供すること」(Robin Miller 2016)

出典：Robin Miller (2016) Integrated Care in Action: A Practical Guide for Health, Social Care and Housing Support, P15 より引用筆者訳

インテグレートドケアは、制度をつくるだけでは利用者に届かない。専門職や事業所や家族などが、その利用者を中心として機能することで形づくられていく (図3)<sup>7)</sup>。

## 7. インテグレートドケアを補強する原理原則

Nick Goodwin (2014) らは、インテグレートドケアを補強する16の原理原則をまとめている (表1)<sup>8)</sup> 「インテグレートドケアとは何か、キー概念が欠如しているためにさまざまに解釈されてきました。例えば、ある疾患—例えば、糖尿病などの慢性疾患をもつ患者のためのコーディネートの例をインテグレートドケアとみなされたり、継続性アプローチをインテグレートドケアといわれることもある。しかし、病気に焦点をあてていくと、病気別の縦割りプログラムとなり、holisticやpeople-centeredという、インテグレートドケアの哲学を必ずしも包含しません。

International Foundation for Integrated Careでは、WHOのThe Global Strategy on People-Centred and Integrated Health Serviceを支援するために、WHOと共にインテグレートドケアの原理原則ガイドラインを作成してきました。さまざまなステークホルダー (独立したさまざまな所属組織の違う

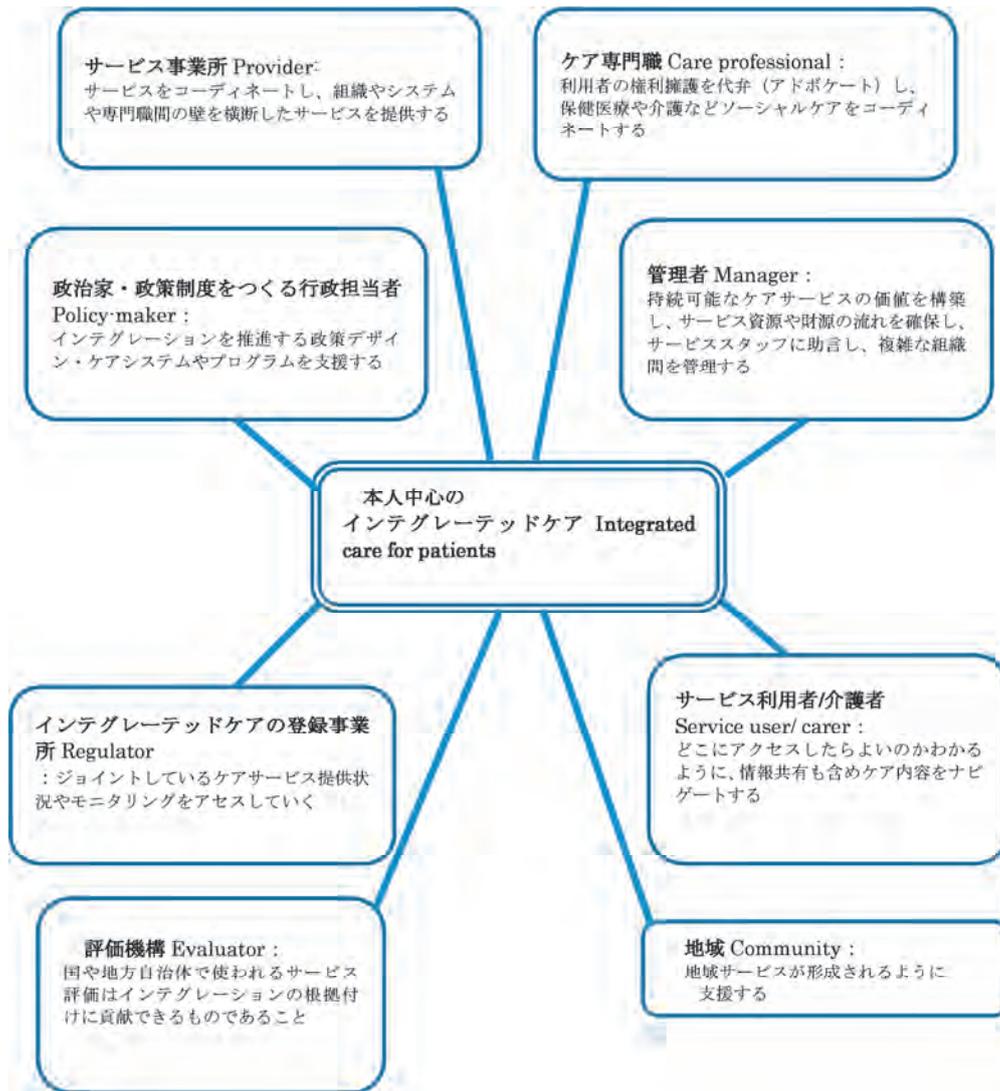


図3 「Perspectives Shaping Integrated Care多面から成るインテグレートドケア」  
出典) Shaw et al, 2011, p.13 を筆者訳

利害関係者—利用者、サービス提供者、行政等（カッコ内筆者注釈）から得た情報を整理した結果、インテグレートドケアを補強する中核コア原則が明確になりました。

これらのコア原理原則は、それぞれの国が、ユニバーサルヘルスカバレッジ（Universal health coverageだれに対してもヘルスを保証すること（カッコ内筆者注釈））のために、よりよい状況をつくるために、グローバルストラテジーをすすめていくための原理原則です。

原理原則は、さまざまに違う国々において、実際に、インテグレートドケアの発展に影響を与えてきました。インテグレートドケアシステムの提供のための経済財政支援や、政策や、管理的リーダーの重要性や、ケアを変容させていくこと、ケア記録を共有していくこと、等が変わってきました。

インテグレートドケアを補強する共通の原理原則を論じることがはじまっています。インテグレートドケアには原理原則が必要でしょうか？これらの原理原則は正しいでしょうか？読者も考えてみてください。」

表1 インテグレートケアを補強する原理原則16項目

1 包括的 Comprehensive: 個別状況に応じて包括的に
2 公平公正 Equitable: 誰もが手が届き手に入れることができるケア
3 持続可能 Sustainable: 維持し後押しできる
4 コーディネート Co-ordinated 利用者のニーズに合わせて複数の事業所や環境を超えて効果的に調整されたものであること
5 継続 Continuous: 人生の中で継続的に提供されるケアサービス
6 ホリスティック Holistic: 身体や社会環境など一体的に
7 予防 Preventative: 病気を決定づける社会的要因に立ち向かいとりくむ
8 エンパワー Empowering: -人が自分で健康を管理し責任を持てるように
9 目標志向 Goal oriented: 目標ゴールを設定し成功度を評価
10 尊厳敬意 Respectful: 個人の尊厳や社会状況や文化的相違に敬意を払う
11 協働 Collaborative -1次2次3次を超えてサポートするケア、関係性を築きチーム体制で働き協働実践を促す
12 協同して働きかける Co-produced -個人やコミュニティや組織や政策レベルがともに働きかける
13 権利と責任を与えられている Endowed with rights and responsibilities
14 共同責任 Governed through shared accountability: 複数の事業所で共同してケアの質に責任を持つ
15 エビデンス根拠 Evidence-informed: 根拠に裏付けられた方法、客観的な測定できる結果
16 全体システムにおいて導かれる Led by whole-systems thinking

## 8. 日本ではどのレベルのインテグレートケアが可能か

実は、インテグレートケアとは一つではない。インテグレーションの強さの度合いによって、図4に示すように、3段階のレベルがある<sup>9)</sup>。

- |                                      |
|--------------------------------------|
| 第一レベル: リンケージ (つなぐ 情報を伝える)            |
| 第二レベル: コーディネーション (適切に組み合わせて連絡調整する)   |
| 第三レベル: フル・インテグレーション (機能も財源も併せて一つにする) |

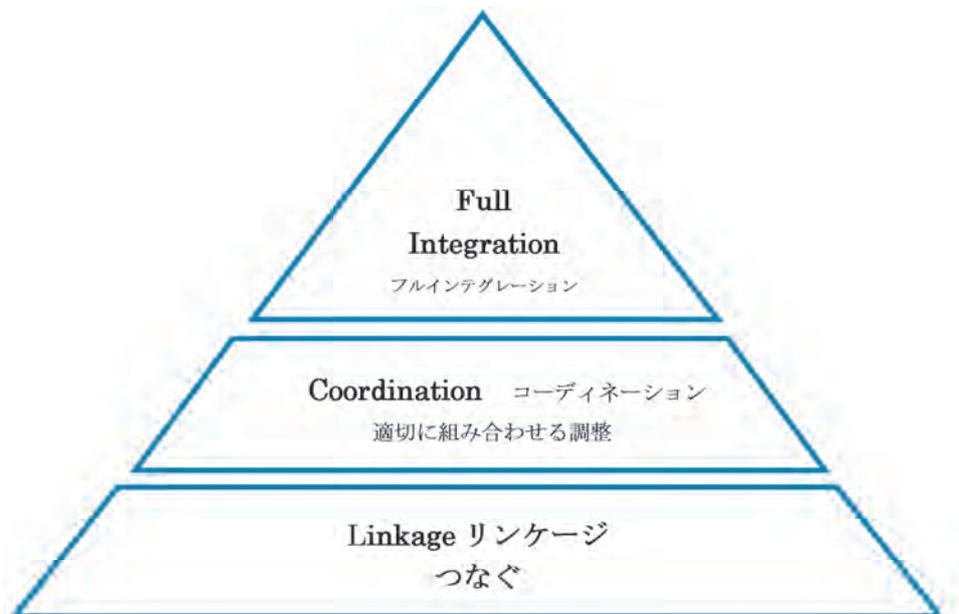


図4 「Intensity of integration インテグレーションの強さの度合」  
出典) Shaw et al, 2011, p.15 ; after Leutz, 1999  
筆者が大項目のみ訳

フル・インテグレーションを日本語で説明するのは難しい。財源もマンパワーも両方から持ち寄って一つにまとめ、ケアサービスのインテグレーションをすすめることである。

日本では民間企業や社会福祉法人や医療法人や公社など、それぞれがそれぞれの施設やサービス事業所を運用している。働く人はそれぞれに雇用されている。このような状況にある日本でフル・インテグレーションは無理である。

日本では地域包括ケアが厚生労働省の施策となっている。大きな施策の方向性を示す看板としては有効だが、日本語で地域包括ケアという用語がどのレベルで何をめざすのか、あまりにも大枠すぎる。細目を考えていく、例えば、まずは、リンケージをめざしていくことを具現化していくことが現実的である。そうすれば、さらにその先の、コーディネーションも見えてくるのではないか。

## 9. 利用者ニーズに応じたインテグレーション実践

利用者ニーズに応じたインテグレーションの段階を図5に示した<sup>10)</sup>。

利用者ニーズに緊急性がなく利用者ニーズが低い場合は、情報提供を行って、それがどうなったかをフォローしていけばよいレベルは、リンケージを行う。病院からの退院時計画など生活状況が変動するリスクのある人たちには、サービス調整を行い、ケアマネージャーがスタッフを連絡していくコーディネートをを行う。ニーズが高い人には、多職種チームでケアサービスをどう行うかをセットし、サービス調整。専門職調整も行う、インテグレーションとなる。

このように、まずは、個々のニーズをしっかりと把握することが基本となる。同時に、どのレベルなのかをレベル分けする専門性や、どのレベルなのかを複数の専門職で合議するしくみ・あるいはパン

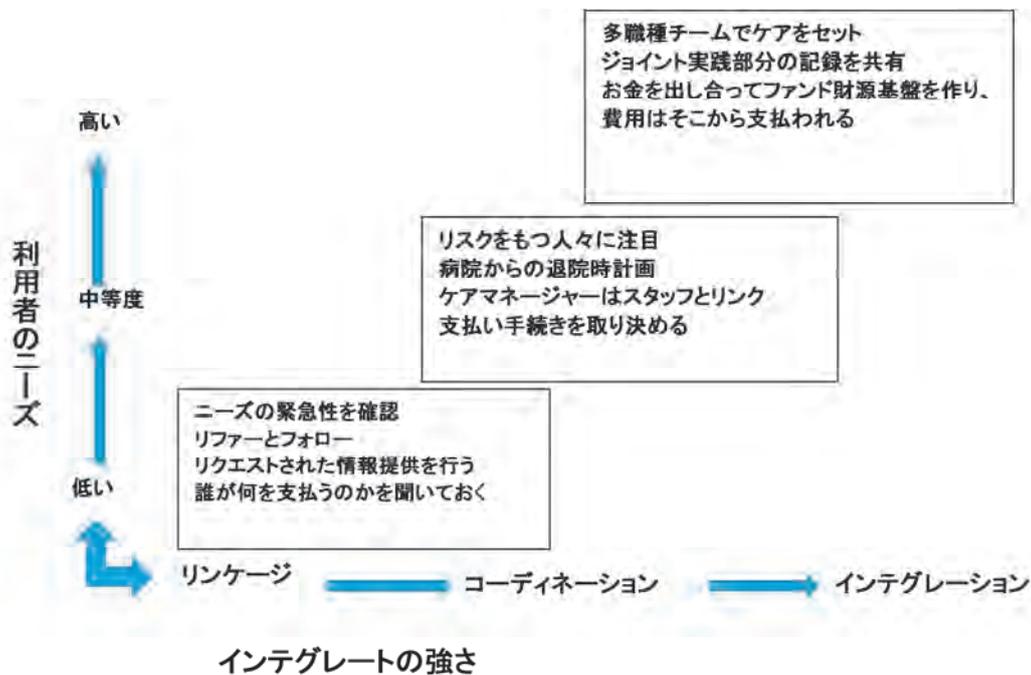


図5 Setting the level of integration against user need to optimize care  
利用者ニーズに応じたインテグレーションの段階  
Source: adapted from Leutz1999 in Nolte & McKee (2008) を筆者訳

コンソフトなども有用であろう。

そうして、リンケージでよい人にはリンケージを行い、多職種チームで誰がどの時間に何を援助すればよいかを組む必要がある人にはインテグレーションされたケアサービスを提供する。このようにレベルに応じた対応が必用である。

## 10. レベルをつなぐインテグレーション戦略

レベルをつなぐインテグレーション戦略を図6に示した<sup>11)</sup>。

この図は、1対1のケアサービスでインテグレーションが行われるためには、それを援助する専門職や、所属する組織や、制度設計システムがつながっている必要があることを示している。さらに、すべてのレベルの基礎に、規範と機能が共有されることが必要だというのが示されている。規範とは、何のためにケアサービスを提供するのか価値基準など、規範や考え方をどのレベルでも、誰もが、同じように理解することである。いわば、ケアサービス提供の考え方である。さらに、ITシステムや記録など、機能開発をそれぞれのレベルがそれぞれに行うのではなく、それらの機能を共有し

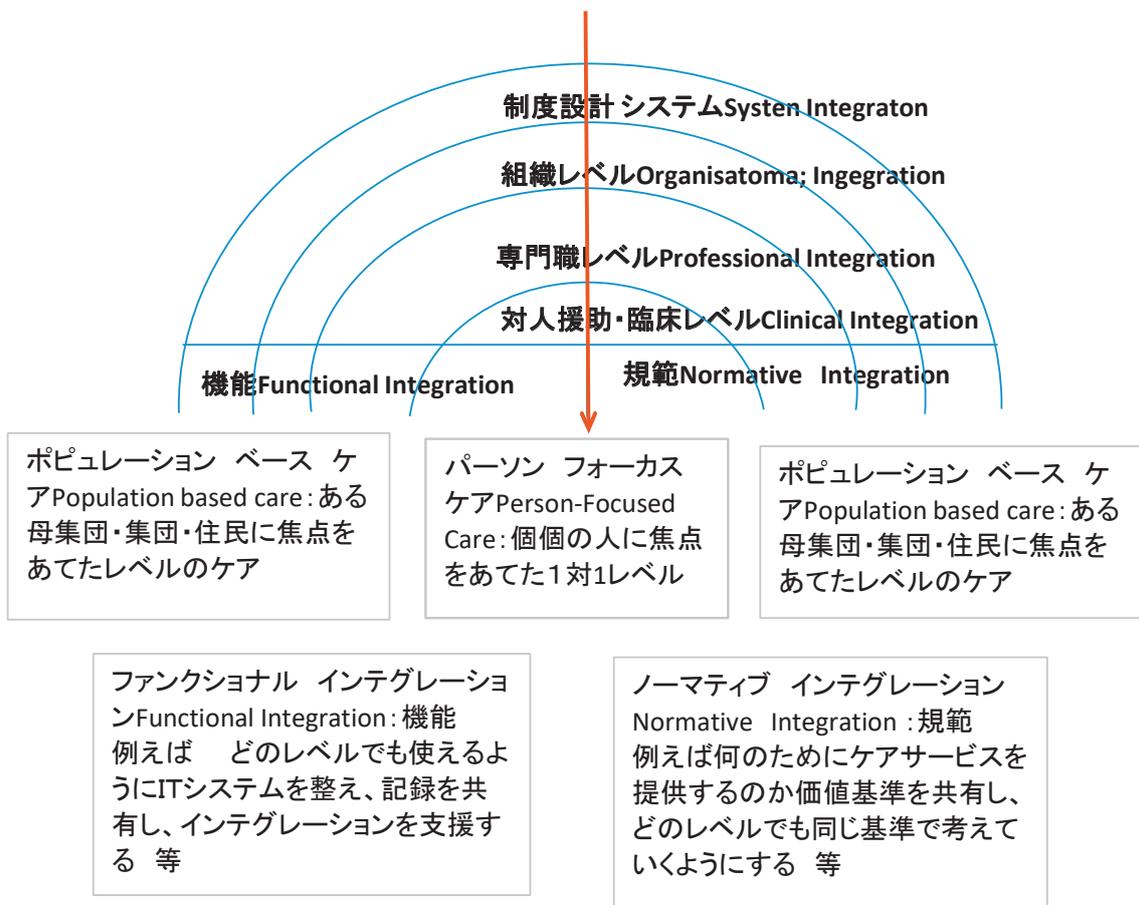


図6 Integration Strategies at Every Level  
レベルをつなぐインテグレーション戦略

Source: adapted from Valentijn et al (2013) Understanding integrated care: a comprehensive conceptual framework based on the Integrative functions of primary care, *IJIC*, vol13. Jan-Mar

ていくことでインテグレーションが推進されるのである。真ん中の矢印は、それぞれのレベルを→が貫き、つないでいることを示している。そうやって、目の前の人に、インテグレートケアが届くのである。

## 11. 利用者中心のインテグレートケアがすすむことによって期待される変化—介護施設と在宅の例示—

WHO<sup>12)</sup> は、利用者中心インテグレートケアが推進することによって、ケアサービスがどのように変化していくか、病院やクリニックや介護施設や在宅など、ケアサービスの提供場所別に示している（表2）。インテグレートケアがすすむと利用者にとどのような形で届くことになるのか。医療と介護サービスが継続的に提供されるようになり、本人のセルフケアやエンパワーがもっと高めていく方向性が示されている。

表2 利用者中心のインテグレートケアがすすむことによって期待される変化—介護施設と在宅の例示—

	現状	インテグレートケアがすすむことによって期待される変化
介護施設 Long-term care	介護施設を利用したくてもアクセスしにくい。利用困難。 慢性疾患をもつ長期療養者の人生の終末期を支えるにはケアサービスが不十分 コーディネーション力が弱い。	介護施設のヘルスサービス提供力をもっと拡大し、ネットワークをつくる 継続的なケアサービスを提供できるようにする。 ケアの質をモニタリングする。
在宅 Home Care	ケアサービスの質が低い。 家族介護者やサービス事業所間のコーディネーションが弱い。 家族介護負担を軽減できない。	ケアニーズに焦点を当てる。 別々に提供され、協働していない保健医療ヘルスケアのコーディネーションを高める。 ケアの質を上げるようにスーパービジョンを行う。 本人のセルフケアを高める。 本人と家族をエンパワーする。

Source World Health Organization (2015) 「WHO global strategy on people-centred and integrated health service」 InterimReport P28

Table 1. Current challenges by type of health facility in reorienting the model of care towards people-centred and integrated health servicesを筆者が訳して要約

## おわりに

インテグレートケアが何なのか、インテグレートケアの強さによってレベルがあることや、どのようにすすめればよいのか、多くを学んだ。中でもプロフェッショナルケアを必要とする人は20%で、残り80%はセルフケアでよいという話が耳に残っている。ケアサービスをインテグレートすることばかりが目立つのではなく、まずはセルフケアでよい人をフィルターで分け、その人たちのセルフケアを高めていくこと。そして、情報が必要な人やサービスにつなげば自分でセルフマネジメントできる人にはリンケージ（つなぐ）支援を行う。家族と介護者をサポートすること。プロフェッショナルケアを必要とする人には、コーディネート（連携調整）して、個別の、テーラーメイドのケアを行う。専門職はそれぞれの専門性を高めるだけではなく、専門職には、チャレンジも必要であり、グ

ループで働くためのコンピテンス、コンフリクト葛藤マネジメントも必要となってきた。日本でも、今、できることを少しずつ、ボトムアップでインテグレートドケアを創っていききたい。

## 引用文献

- 1) Case Study Scotland from building and enabling environment to implementation of integrated health and social care, International Summer School on Integrated Care (2016).
- 2) Anne Hendry, Building an enabling environment III: Influencing, Engaging, Improving, International Summer School on Integrated Care (2016).
- 3) WHO, WHO global strategy on people-centred and integrated health service Interim Report (2015) ([http://apps.who.int/iris/bitstream/10665/155002/1/WHO\\_HIS\\_SDS\\_2015.6\\_eng.pdf](http://apps.who.int/iris/bitstream/10665/155002/1/WHO_HIS_SDS_2015.6_eng.pdf))
- 4) Margaret Chan  
<http://integratedcarefoundation.org/resource/opening-ceremony-dr-margaret-chan-director-general-world-health-organization-icic16> (2016) ビデオメッセージを筆者訳・要約
- 5) Nick Goodwin, Viktoria Stein, What is integrated care Part1, The International Summer School on Integrated Care 2016, “Integrated Care in Theory and Practice” (2016) スライドより筆者訳
- 6) Robin Miller, Integrated Care in Action – A Practical Guide for Health, Social Care and Housing Support, P15 (2016) を筆者訳
- 7) Shaw et al, Figure 「Perspectives Shaping Integrated Care」 (2011) を筆者訳
- 8) Nick Goodwin, Lourdes Ferrer, What are the principles that underpin integrated care, volume 14, 27 November (2014).
- 9) Shaw et al.; after Leutz, 1999, Figure 「Intensity of integration」 (2011) を筆者が大項目のみ訳
- 10) adapted from Leutz1999 in Nolte& McKee, Figure 「Setting the level of integration against user need to optimize care」 (2008) を筆者訳
- 11) adapted from Valentijn et al, Figure 「Integration Strategies at Every Level, Understanding integrated care: a comprehensive conceptual framework based on the Integrative functions of primary care, IJIC, vol13, Jan-Mar (2013)
- 12) 前掲3) 「WHO global strategy on people-centred and integrated health service」 Interim Report, P28, (2015) を筆者が訳して要約